

授業概要

メディア（映画・マンガ・アニメーション）における文化を読む。日本の映画やアニメーションなどを中心に、そこに表される文化を読み解いていく。現代文化と歴史とのかかわりを学び、現在に通底している問題を探っていく。メディアはどのように使用されたかを具体的に歴史や政治動向から考察し、現代メディアにどのように反映されているかを講義する。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	大津事件と博物館
第3回	写真と生人形
第4回	日本文化のなかにみる現代
第5回	歴史と2.5次元
第6回	テニスの王子様と漫画
第7回	宝塚からみる舞台文化
第8回	戦争と漫画（1）
第9回	戦争と漫画（2）
第10回	映画と文学（1）
第11回	映画と文学（2）
第12回	越境するキャラクター（1）
第13回	越境するキャラクター（2）
第14回	プロバガンダアニメーション（1）
第15回	プロバガンダアニメーション（2）
第16回	試験

到達目標

現在のメディアが日本の歴史と文化に根付いていることが理解でき、エンターテインメントとメディアの関係を具体的に学ぶことができる。

履修上の注意

積極的に授業へ参加。事前に調べたことやもともと知識としてあることなどを踏まえ、参加すること。小レポートではそれを反映させる。

予習・復習

授業後に小レポートを提出。事前に予習内容を知らせるため、それをそのレポートに反映すること。授業で質問したことに対し、回答を必ずレポートに記入する。復習は筆記試験ではかる。

評価方法

事前に調べた予習は、毎回の小レポートに記述する。
授業内小レポート 50%。筆記試験で 20%。最終試験で 30%。

テキスト

使用しない。